

～ 2023 年度入試変更点 《抜粋》～

[1] 関西大学

- *「理工系学部」の 2 月 7 日実施の理科②設問選択(理科重視)方式が『理科設問選択(理数重視)方式』に変更となる。
 - ⇒ 共通テスト利用入試の併用＆後期でも、理科 1 科目で受験できる方式が拡充される
- *「法学部」の募集定員の割り振りが、全学日程①及び②をまとめて一本化される。
- *「総合情報学部」の 2 月 3 日実施分に『2 教科(英数方式)』が導入される。
- *「総合情報学部」の 2 月 1 日実施分が、教科選択型から『2 教科型[英語・英数・国数]』に変更される。
 - ⇒「国語」は、他の文系学部と同じ問題を使用する。
- ⇒ 試験時間及び配点は、受験型によって以下のようになる。〔350 点満点〕
 - ① 英国型 … 英語(90 分・200 点) + 国語(75 分・150 点)
 - ② 英数型 … 英語(90 分・175 点) + 数学(90 分・175 点)《傾斜配点》
 - ③ 国数型 … 国語(75 分・150 点) + 数学(90 分・200 点)
- *「文＆経済学部」で『国際バカロレア入試』が実施される。
- *大学入試共通テスト利用＆併用方式で、科目型等の変更・拡充が見られる。

[2] 関西学院大学

- *「教育学部」で実施している『主体性評価方式』が廃止となる。
- *「社会学部」で実施の『共通テスト併用(数学)／英数日程(英語・数学型)』が廃止となる。
- *総合型選抜が統合・再編される。〔専願〕
 - ⇒①グローバル入試 ②探求評価型入試 ③スポーツ選抜入試 ④学部特色入試
 - ⑤インターナショナル・バカロレア入試 ⑥帰国生徒入試(従来の「アドミッション・オフィス入試」と「総合選抜入試」は廃止)
- *大学入試共通テスト利用入試及び併用日程において、「名称」「出願資格」「採用科目」「科目採用方法」に一部変更がある。
- *個別学部日程(2/3～)に「大阪北部・南部」会場が新設される。
 - ⇒ ①大阪北部:梅田周辺 ②大阪南部:難波、天王寺周辺

[3] 同志社大学

- *「文化情報学部」の推薦選抜入試において、従来の出願条件に下記の要件が付加される。
 - ⇒ 第3学年の 1 学期末(2 期制の場合は前期末)までの「英語・国語・数学」のいずれかの学習成績が『4.0以上』である者。
- *「文化情報学部」のAO入試において、出願資格が変更となる。
 - ⇒ 「英語・国語・数学」のいずれかの学習成績が『4.0以上』である者。
 - 〔今まででは、「4.0以上であることが望ましい」〕
- *「経済学部」の自己推薦入試の 2 次選考から英語の記述試験が除かれる。

[4] 立命館大学

- *「産業社会学部」の学部個別配点方式(文系型)の配点が変更される。
 - ⇒ [旧]英語:100 国語:100 選択:200 = 400 点満点

⇒ [新]英語:150 国語:150 選択:200 = 500 点満点

*「総合心理学部」の学部個別配点方式(理科 1 科目型)が廃止され、『理系型 3 教科方式(2/2 実施)』が導入される。

⇒ 英語:150(80 分) 理科:100(80 分) 数学:150(80 分)= 400 点満点

⇒ 数学:数学 I・II・A・B(数列 & ベクトル)

*「産業社会学部」の共通テスト方式及び併用方式の 3 教科型において、必須科目の追加(近代以降の文章)と配点変更が行われる。

*「総合心理学部」の共通テスト方式に『3 教科型』が追加される。

*「映像学部」「情報理工学部」の入学者は、2回生進級時に、大阪いばらきキャンパスに移動となる。

[5] 近畿大学

*「文芸学部芸術学科造形芸術専攻」の一般入試 A 日程の試験実施日が、2 月 1 日(水)、2 日(木)の 2 日間となる。

* 公募推薦入試と一般入試(国際学部のみ)の外部試験利用制度の対象試験に『ケンブリッジ英検』が追加となる。

*「国際学部」の東アジア専攻がコース別募集となる。[中国語or韓国語コース]

*「経済学部」の公募推薦で試験科目に『数学』が追加される。

⇒ 英語 + 国語 or 数学[旧:英語 + 国語]

*「経済学部」の共通テスト利用[前期]に『5 教科 7 科目型』が導入される。

*「理工学部」の公募推薦で『理科』の選択ができる学科が増える。

⇒「応用化学科」と「エネルギー物質学科」

*「理工学部」の共通テスト利用[中期]が『高得点 3 科目[300 点満点]判定』となる。

⇒ 今春までは 4 教科 4 科目 400 点満点

*「生物理工学部」の公募推薦と一般前期[B 日程]の判定に『学部独自方式』が導入される。

⇒ 公募推薦:数学 or 理科から 1 科目で判定(100 点満点、2 科目受験必須)

⇒ 一般前期 B:数学と理科の 2 科目で判定(200 点満点、3 科目受験必須)

[6] 甲南大学

*『心理学部(255 名)』を設置予定。《文学部臨床心理学科(99 名)を改組》

⇒ 1&2年:深草キャンパス、3&4年:大宮キャンパス

*『農学部』で学科名の変更が予定されている。

⇒ ①植物生命科学科 → 生命科学科、②資源生物科学科 → 農学科

[7] 龍谷大学

*『心理学部(255 名)』を設置予定。《文学部臨床心理学科(99 名)を改組》

⇒ 1&2年:深草キャンパス、3&4年:大宮キャンパス

*『農学部』で学科名の変更が予定されている。

⇒ ①植物生命科学科 → 生命科学科、②資源生物科学科 → 農学科

[8] 京都産業大学

*共通テスト利用入試の英語の配点比率が変更となる。

⇒リーディング:4(1) vs リスニング:1(1) [()内は昨年度]

- *総合型選抜(AO入試・外国語学部)の出願要件が、一部変更となる。
- *公募推薦入試の「総合評価型」の対象資格が、一部変更となる。
- *「現代社会学部」の次世代型リーダー選抜入試の選抜方法が変更となる。

[9] 追手門学院大学

- *『法学部(230名)』を新設予定。『総持寺&安威キャンパスの併用』
 - ⇒ 政策法務と企業法務の2コース制
- *一般入試のA日程及びB日程の試験科目構成が変更となる。
 - ⇒ ①A日程:3教科型、2教科型、英数型 ②B日程:2教科型、英数型(4日のみ)
- *公募推薦入試及び一般入試において、『みなし得点制度』が導入される。
- *公募推薦入試の後期日程に『数学基礎学力型』が導入される。
- *一般入試「英数型」の数学の配点が、英語の2倍となる。[国際学部は除く]

[10] 大阪経済大学

- *「経営学部Ⅱ部(110名 → 50名)」以外の全学部で募集定員が増となる。
 - ⇒ 経営学部経営学科:+100名(330 → 430)、同ビジネス法学科:+20名(180 → 200)
 - 情報社会学部:+50名(250 → 300)、人間科学部:+25名(175 → 200)
 - 経済学部:+80名(600 → 680)[全体:+215名]
- *「経済学部地域政策学科(150名)」の募集が停止となる。
 - ⇒ 経済学部は、経済学科1学科体制、ただし定員は増となる。[450名 → 680名]
 - ⇒ 2年次より、以下の4つのコースから専攻を選択する。
 - ①産業・金融 ②公共政策 ③国際政治経済 ④地域政策
- *「情報社会学部」でコース・領域が改編される。
 - ⇒ 総合情報コース:①情報デザイン領域 ②データサイエンス領域
 - ⇒ 社会学・現代ビジネスコース:①社会学領域 ②現代ビジネス領域

[11] 関西外国語大学

- *特技入試D方式(2021年までのC方式)が廃止となる。
- *特技入試A方式の「吹奏楽」「FBS放送局」「混声合唱団(合唱部)」は「B方式」に変更となる。
- *共通テスト利用入試[前期日程]に『5科目型(500点満点)』が導入される。
- *共通テスト利用入試において、利用できる外国語は「英語」のみとなる。
- *共通テストプラス型[一般前期A+共通テスト]が新設される。
 - ⇒ 前期A:英語100点+共通テスト:国語100点&選択科目①100点
- *『国際共生学部(100名:編入定員30含み)』を設置構想中。
- *外国語学部に『英語・デジタルコミュニケーション学科(200名)』を新設予定。

[12] 摂南大学

- *『現代社会学部(250名)』を寝屋川キャンパスに設置構想中。
 - ⇒ ソーシャルイノベーション、ライフデザイン、メディアコミュニケーションの3コースを予定 [生活科学部の募集停止]
 - ⇒ 総合型選抜は『アクティブラーニング型入試(25名)』を実施。

⇒ 公募推薦B日程は『国語(200点)＋面接(100点)』の人物重視で選考。

[総合評価方式は、成績・資格等(75点)を加味して判定]

[13] 帝塚山学院大学

*以下の2学科に専攻を新設予定。

⇒ リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科：社会マネジメント専攻

人間科学部心理学科：健康・発達科学専攻

[14] 羽衣国際大学

*総合型選抜において入試方式が変更・拡大される。

⇒ ①オープンキャンパス参加型 ②基礎学力テスト型 ③プレゼンテーション型 ④作品発表型

*一般選抜の試験科目に「日本史」「世界史」が追加され、3科目受験も可能となる。

⇒ 高得点2科目判定も可

[15] 桃山学院大学

*「社会学部ソーシャルデザイン学科」の学校推薦型選抜及び一般入試前期・中期・後期で「面接」が廃止となる。

*「ビジネスデザイン学部」に『学校推薦型選抜(公募制)』及び『総合型選抜(併願VI期[3月])』が導入される。

*総合型選抜(専願制)において、以下的方式(型)が導入される。

⇒ 國際教養学部：『プレゼンテーション型』と『オープンキャンパスエントリー型』

⇒ 法学部：『ディベート型』と『資格・活動実績型』

*総合型選抜(併願制)が、1月にも新設される。

⇒ 対象学部：社会学部(ソーシャルデザイン学科)、國際教養学部、法学部

[16] 大和大学

*『情報学部(200名)』を開設予定。

⇒ 現代社会学、メディア社会学、社会心理学の3コース [横断型カリキュラム]

⇒ 2024年以降、『国際系学部』の設置構想もあり。

*『政治経済学部』に専攻が設置され、募集定員も増となる。

⇒ 政治・政策学科：+20名(40 → 60)、経済経営学科：+40名(80 → 120)

⇒ 政治・政策学科：政治学 & 政策学専攻、経済経営学科：経済学 & 経営学専攻

*『保健医療学部総合リハビリテーション学科』に4年次編入枠(10名)が設けられる。

⇒ 理学：5名、作業：5名。[系列の白鳳短大リハビリ専攻からの編入を覗んで]

[17] 京都外国语大学

*A日程[2教科型・3教科型]において、選択科目に変更がある。

⇒ 「地理B」の選択が不可となり、新たに『数学I・A』が追加される。

[18] 佛教大学

*『教育学部幼児教育学科』の受験機会が拡大される。

⇒ ①総合型選抜(自己推薦制) ②一般選抜(B日程・共通テスト併用方式) ③大学入学共通テスト利用選抜(前期・後期)